



2023年6月

友田保育園

ゴールデンウイーク開けの5月8日からコロナウィルス感染症は5類に移行し、旅行や会食の機会が増えて人との交流が多くなりました。ここ2、3年コロナ禍で感染予防を万全にしている世の中で育ったお子様は、ウィルスへの耐性が未熟であり風邪をもらいやすい状況下にあります。今後も基本的な手洗い・うがいなどの感染予防は続けていきましょう。



5月の子どもたちの様子 流行性感染症でのお休みはありませんでした。ゴールデンウイーク明けの週に、発熱・咳・鼻水・嘔吐・下痢でのお休みが乳児クラスで多くみられました。



友田保育園での応急処置について

最近の研究報告で、すり傷や切り傷では消毒液を使うより水道水で洗浄した方がかえって傷の治りが良いという報告があります。水道水には残留塩素も含まれているので殺菌効果があると思われています。

☆今後、消毒はしません！消毒薬は細菌を殺す働きがありますが、その一方で人間の正常な細胞に対しても毒性があります。消毒は傷を治そうとしている細胞を殺すことになり、傷の治りが遅くなります。

(園外保育・散歩等の出先で傷口を洗い流すことができない場合にはマキロン消毒を使用します。)

☆傷は乾かさない⇒浸潤状態を保つ！ケガをした後の傷を治すために必要な成分を含んだ浸出液が出てきます。そこにガーゼをあててしまうと必要な成分が吸収され乾燥してしまい自然治癒効果が期待できません。

では、どうすると良いか・・・



① 水道水で傷口をきれいに洗う（泡立てた石けんを使用すると効果的）。

②水分を拭き取る。③出血していればワセリンを傷口に塗布（傷が直接ガーゼや絆創膏にくっつかないので痛みも軽減し、浸潤状態が保てる）

ジュクジュクした長引く傷は、1日1回傷口の観察をしましょう。ジュクジュクは頑張って細胞が治している途中です。洗う時、全部取らないように軽くジュクジュクを落す感じで洗いましょう。

治りが悪い場合は医療機関を受診しましょう。『とびひ』にならないように注意しましょう。

6月の予定

- 1日(木)歯みがき指導
- 12日(月)乳児身体測定
- 13日(火)幼児身体測定
- 19日(月)乳児健診・眼科検診

夏の感染症

(手足口病・ヘルパンギーナは登園届、咽頭結膜熱（フル熱）は治癒証明書が必要です。)

○手足口病：手のひらや足のうら、口の中に小さい水ぶくれができます。お尻や膝にできることもあります。症状が出た最初の週の感染力が最も強い。

○ヘルパンギーナ：38～40℃の高熱が1～3日続きます。
喉の奥に小さな水ぶくれができて、喉が痛いので食べられなくなります。

○咽頭結膜熱：39～40℃の高熱が4～5日続きます。喉は咽頭炎で痛みが強く、目も結膜炎で赤くなります。（アデノウィルス感染症と診断を受けた場合は、咽頭結膜熱の可能性もあるので医師に確認をお願いいたします。アデノウィルス感染症のみの診断であれば登園届の記入をお願いします。）